

山形県広報誌県民のあゆみ令和5年1月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和5年1月号 第631号

県民のあゆみ1月号

新春知事対談 やまがた紅王本格デビュー 果樹王国やまがたのさらなる飛躍へ（2ページ）
特集 はじめてみましょう！人と地球にやさしい「エシカル消費」（6ページ）
潜入レポート！ 山形県郷土館「文翔館」前編（16ページ）

今月の表紙

山形県漁業協同組合直営「庄内海丸」のスタッフの皆さん。「庄内海丸」は山形市内の「コープしろにし」内にあって、庄内浜で水揚げされた新鮮で種類豊富な海の幸がずらりと並びます。地元で獲れた魚を選ぶことは、エシカル消費につながります。（撮影協力：山形県漁業協同組合、コープしろにし）

<2から5ページ>

タイトル

新春知事対談

やまがた紅王本格デビュー 果樹王国やまがたのさらなる飛躍へ

令和5年新年号では、吉村知事とJA山形中央会の折原敬一代表理事会長、本県出身の歌舞伎俳優の中村橋吾さんに誌面对談の形式で語っていただきました。

歌舞伎俳優 中村橋吾（はしご）さん

1979年生まれ。鶴岡市出身。2000年国立劇場第15期歌舞伎俳優研修修了。2001年4月3代目中村橋之助（現・芝翫）に入門し、歌舞伎座を中心に全国の劇場、海外公演にて活躍中。

山形県知事 吉村美栄子

JA山形中央会 折原敬一代表理事会長

1953年生まれ。平成29年JAみちのく村山代表理事組合長、令和3年JA山形中央会代表理事会長、JA全農山形県本部運営委員会会長、JA共済連山形県本部運営委員会会長、JAみちのく村山会長理事。

昨年を振り返って

知事 県民の皆さん、あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いたします。

昨年は、全国的にも新型コロナの流行や不安定な国際情勢などが心配される中、本県の明るい話題を提供することができました。なんとといっても、6月の「やまがた紅王」のプレデビューです。文翔館と東京の歌舞伎座においてプレス向けイベントを開催し、「やまがた紅王」に対する生産者、関係者、消費者の皆さまの期待の大きさを改めて強く実感したところです。

一方で、8月には、これまでに経験したことのない豪雨に見舞われ、置賜地域を中心に県内各地で甚大な被害が発生しました。私もただちに現地で被害状況を確認し、政府に対して災害復旧事業の推進に向けた緊急要望を行うとともに、地元市町村や関係機関等と連携し、被災された方の生活と経済活動が一刻も早く回復するよう早急な対策を進めてまいりました。

このような中であっても、さくらんぼやラ・フランスをはじめとした果実や野菜、「つや姫」「雪若丸」などのお米を大変おいしく生産することができたのは、生産者の皆さまのきめ細かな栽培管理などのご努力の賜物です。

さくらんぼの新品種「やまがた紅王」の魅力と高まる期待

知事 さくらんぼ県やまがたから昨年プレデビューした「やまがた紅王」は、山形県が20年以上かけて開発しました。「やまがた紅王」は、果実が大きくつやがあり、果肉がしっかりして、とても食べ応えがあります。また、酸味が少なく、上品な甘さを感じられます。さらに、日持ちも良いので、海外への輸出など、可能性は非常に大きいのではないかと考えています。

橋吾 歌舞伎座でのイベント出演の際に、初めて「やまがた紅王」を見たのですが、その果実の大きさには大変驚きました。そして、箱に入った真っ赤な美しい姿は圧巻でした。甘くて、とてもおいしい。役者で申せば、声良し、顔良し、姿良しのまさに「千両役者」です。私も山形の魅力が詰まった「やまがた紅王」にすっかり魅了されました。

折原 「やまがた紅王」は期待の新品種で、平成29年に品種登録され、そして令和元年に吉村知事から、「やまがた紅王」の名称を公表していただきました。昨年のプレデビューに続き、今年は待ちに待った本格デビューを迎えることに大変期待を寄せております。

吉村知事が先頭に立ちブランド化を進めてきた「つや姫」と同じように、「やまがた紅王」が果樹はもちろんのこと、農畜産業全般にわたる振興に寄与できるよう、本県JAグループとしても、県や関係機関と連携して取り組んでいきたいと思っております。

知事 本県のさくらんぼの歴史は、明治8年、旧県庁の敷地内に植栽された3本の苗木から始まり、缶詰加工や、品種改良、栽培技術の確立など、生産・販売・流通の各分野における先人の挑戦の歴史でもあります。「やまがた紅王」は、官民一体となって、時代に合わせて取り組んできた知恵と努力の結晶でもあります。これまでの先人による挑戦の物語「チャレンジ・スピリッツ・ストーリー」も含め、多くの方の心をつかむものと確信しています。

「やまがた紅王」本格デビューに向けて

知事 プレデビューを含めた一連の取り組みを通して、いろいろな方からご意見を伺うことができました。消費者の皆さまからは「食味が良好」、「食感が良い」とのお声をいただいたところです。

橋吾 「やまがた紅王」は、サプライズの贈答品としてもオススメです。箱を開けた時の感動は人々を魅了することでしょう。

折原 県とJAグループが一緒になって作成した「栽培マニュアル」に沿って、大玉高品質生産に向けて摘芽、摘果などの着果管理や、葉摘みなどの着色管理を徹底し、高品質で安定した収量が得られるよう、取り組んでいきたいと考えています。

今年は、昨年の出荷量の約4倍の20トン以上を目指し、「やまがた紅王」の本格デビューにふさわしい、おいしいさくらんぼになるよう丹精込めて育てあげたいと思います。

橋吾 今年は、「やまがた紅王」が県を代表する新品種として全国へ大きく羽ばたく年ですね。そして、世界中に“赤い宝石”として「やまがた紅王」が広く知られるようになっていくことを期待しています。

知事 さくらんぼは、生産、流通、販売、食品製造、観光業など関連産業の裾野がとても広いいため、農家の皆さんをはじめ、各事業者の皆さんは「やまがた紅王」の本格デビューを心待ちにしていると思います。また、さくらんぼは県民の皆さんはもちろん、全国の方に愛され、大きな期待が寄せられています。

そうした期待に応えられるよう、本格デビューに向けて、関係者の皆さんのご協力もいただきながら、「やまがた紅王」のセールスポイントである大玉出荷に向けた生産対策を進めてまいります。あわせて、デビューイベントの開催や各種媒体でのPRなどプロモーションにも力を入れ、「紅王ブランド」を確立していきたいと思っています。

「やまがた紅王」、そして「果樹王国やまがた」のさらなる発展

橋吾 私の故郷である鶴岡市には、たくさんの特産の果物がありますが、私は中でも秋の味覚、アケビが好きです。ほのかな甘みとねっとりとした食感を楽しめる果肉はもちろん、ほろ苦い独特の風味の皮を使った味噌ベースの料理もうまいっ！子どものころからの思い出もよみがえります。

アケビは流通が少なく、東京では食べ方が知られておりません。全国的には“幻の果物”なのかもしれませんね。本県の秋の味覚、アケビをもっと楽しんでいただきたいですね。

知事 豊かな食は本県の大きな魅力です。生産・流通の拡大はもちろんのこと、その魅力を県内外の多くの人に伝えることで、観光誘客や移住の促進、若者定着、関係人口の創出など、本県のさらなる発展にもつながります。こうした意味でも、「やまがた紅王」の本格デビューを迎える今年は、山形県を飛躍させていく絶好の機会だと捉えています。

一方で、令和3年春の凍霜害では、さくらんぼをはじめ、さまざまな果樹に過去に例がないほどの大きな被害がありました。また、高齢化などに伴う担い手や園地の減少などの課題もあります。

折原 令和3年春の凍霜害では、さくらんぼをはじめとする果樹の被害額で129億円を超える未曾有の被害となりました。また、令和4年は8月3日からの記録的な豪雨により、置賜地域を中心に、農作物や農業施設、農地などの農業分野において約100億円もの甚大な被害となりました。度重なる気象災害、担い手の高齢化や離農、年々増える遊休農地、加えて、肥料・飼料・燃料等の資材価格の高騰など、生産者の努力だけではどうにもできない課題もあるのが実情です。

知事 県としても、生産現場を取り巻くさまざまな課題への対応が重要であると考えています。「果樹王国やまがた」の維持・発展に向けて、県では、新たな担い手の確保に向けた果樹団地の整備や、資材価格高騰に対応した果樹施設の改修支援に加え、品種開発をはじめとする試験研究機関の機能強化などさまざまな事業を行っています。今後も、「果樹王国やまがた」として10年後、20年後も発展しつづけていけるように、県としてもしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

新年の抱負

折原 JAグループでは、国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産する「国産国産」というメッセージを発信し、「食料安全保障の強化」に向けた取組みを進めています。

今年は、気象災害や資材価格高騰にも打ち克って、本県の基盤産業たる農業がますます発展し、すばらしい一年になることを期待します。そして、「やまがた紅王」を県民の皆さんと一丸となって盛り上げていきましょう。

橋吾 私は、「役者」として、誰かの、また、社会の「役に立つ者」でありたいと思っています。県内では昨年、鶴岡市の荘内神社で奉納公演をさせていただいてから、国宝羽黒山五重塔をはじめ、さまざまところで公演が叶いました。おかげさまで県内外から、たくさんのお客さまにご来場いただき、地元鶴岡に貢献できたこともうれしく思います。

「やまがた紅王」は圧倒的な魅力があるさくらんぼです。私も山形県出身の歌舞伎役者として、「役に立つ者」となれるよう、共に精進してまいります。

知事 お二方には、今後ともご協力をお願いするとともに、さらなるご活躍を期待いたします。今年「やまがた紅王」が本格デビューを迎えられるのも、生産現場をはじめ関係者の皆さまのご尽力の賜物です。

世界に誇れるこの山形の魅力を最大限に生かしながら、県民の皆さんが「真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向けて、今年も全力で取り組んでまいります。

写真キャプション1 高所作業の少ない新型のY字樹形

写真キャプション2 国宝羽黒山五重塔での歌舞伎奉納公演

<6 から 7 ページ>

タイトル

特集

はじめてみましょう！人と地球にやさしい「エシカル消費」 よりよい未来のために私たちができること

山形県では、持続可能な社会の実現に向けて、人や社会、地域、環境にやさしい消費行動である「エシカル消費」を広く県民の皆さんに普及する取組みを進めています。

撮影協力：株式会社ト一屋高見台店、東北公益文科大学（酒田市）

県消費生活センターキャラクターのケロちゃんです！エシカル消費をどんどんPRするケロ♪

実は身近なエシカル消費

近ごろ耳にする「エシカル消費」という言葉。難しそうに感じますが、例えば、お店で地元の新鮮な魚や野菜を選ぶことも、実はエシカル消費なんです。

エシカル消費とは、買い物でどれを買うか選ぶとき、価格や品質、安全性のほかに、「この商品はどのように作られたのか」、「環境にどんな影響があるのか」など、生産者や環境のことを考えて選ぶことです。

地産地消の例でいえば、地元の魚や野菜を選ぶことが、輸送の際のCO2の削減や地元の生産者の応援などにつながります。

今、なぜ注目されているの？

地球上では温暖化により、集中豪雨や猛暑が頻発し、人々の生活に大きな影響を与えています。また、プラスチックごみによる海洋汚染や海の生き物への影響も深刻です。こうしたさまざまな問題の解決に向けて、私たち消費者一人ひとりができることとして、今、エシカル消費が注目されています。

写真キャプション 令和4年8月の豪雨災害

エシカル消費、どれくらいの人知っているの？

県が実施した調査では、エシカル消費という言葉を知っているという回答した方は、全体の6・1パーセントにとどまっている状況です。

このため、県では、「エシカル消費」について広く県民の皆さんに知っていただくための普及啓発に取り組んでいます。

消費生活に関する県民意識調査（令和3年7月）

知っている 6.1パーセント

聞いたことはある 9.8パーセント

知らない 81.8パーセント

無回答 2.3パーセント

未来のために行動しよう

エシカル消費は、SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標のうち、特に、目標12「つくる責任つかう責任」に深く関係しています。生産者には、持続可能な方法で生産すること、消費者には、それを責任をもって消費することが求められています。

消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、よりよい未来のために、今から行動しましょう。

SDGsの12番目の目標「つくる責任つかう責任」

今日からはじめるエシカル消費！

人や社会にやさしい消費

<フェアトレード商品を選ぶ>

開発途上国の原料や製品が適正な価格で継続的に取引された商品を購入することで生産者の支援につながります

「国際フェアトレード認証ラベル」コーヒーやチョコレート、コットン製品などについているよ

<寄付つき商品を選ぶ>

売上げの一部が、環境保護や社会貢献活動などの支援に役立てられます

売上げの一部が「やまがた社会貢献基金」に寄付される商品もあります

詳しい情報はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020070/kurashi/npo/kikin/shakaikouken/kifu/shouhin.html>

<障がいのある方の応援につながる商品を選ぶ>

障がい者施設で作られた商品を購入することは障がいのある方の自立を応援することにつながります

写真キャプション 山形県庁地下売店での展示販売

地域にやさしい消費

<地元で生産された農産物や製品を選ぶ>

地産地消によって輸送に必要なエネルギーの削減と地域産業の応援につながります

<被災地の商品を選ぶ>

自然災害にあった地域の商品を積極的に購入することで、被災地の復興を応援することにつながります

食べて応援！買って応援！

<伝統を大切にした商品を選ぶ>

地域の伝統野菜や伝統工芸品を購入することで、伝統の継承を応援することにつながります

写真キャプション1 「食の至宝雪国やまがた伝統野菜」シンボルマーク

写真キャプション2 「伝統マーク」国指定の伝統的工芸品のシンボルマーク

環境にやさしい消費

<エコ商品やリサイクル商品、自然保護の認証ラベルがついた商品を選ぶ>

エコマーク

「生産」から「廃棄」にわたり環境への負荷が少なく、環境保全に役立つ商品につけられます

山形県リサイクル認定製品マーク

県が認定した山形県産の良質なりサイクル製品につけられます

FSC®マーク

適切に管理された森林からの木材や適格だと認められたリサイクル資源から作られた商品につけられます

MSC「海のエコラベル」

水産資源と環境に配慮した持続可能な漁業で獲られた水産物につけられます

(注釈) エシカル消費に関係する認証ラベルやマークは、他にもたくさんあります。掲載しているものはその一例です。

<「てまえどり」で食品ロスを減らす>

すぐ食べるものを買う時は、陳列棚の手前にある賞味期限や消費期限の近い商品を買うことで、お店の食品ロスの削減に貢献できます

写真キャプション 県では「てまえどり」キャンペーンを実施中です！

<使い捨てプラスチックを使わない>

マイバッグを持参したり、スプーンなどの使い捨てプラスチックの使用を控えることで、プラスチックごみを減らすことができます

エシカル消費を“もっと知りたい”にお応えします！

<消費生活出前講座のご案内>

山形県消費生活センターでは、学校や地域に出向いて消費生活に関する出前講座を開催しています。費用は無料です。ぜひご活用ください。

写真キャプション 消費生活出前講座の様子

申込み方法など詳しい情報はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/021006/kurashi/shohi/demaekouzatop.html>

エシカル消費の情報を発信しています！

エシカル消費について詳しい情報はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/021006/kurashi/shohi/ethical.html>

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組

いき☆いきやまがた 放送のご案内

「はじめてみましょう！人と地球にやさしい「エシカル消費」」と題して県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

テレビユー山形（TUY）1月7日（土曜日）午後5時から

山形放送（YBC）1月14日（土曜日）午後1時20分から

さくらんぼテレビ（SAY）1月22日（日曜日）午後4時から

山形テレビ（YTS）1月28日（土曜日）午後3時55分から

放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-3306

消費者トラブルは“消費者ホットライン” 188 へ

<8 から 9 ページ>

タイトル

雪害事故を防ぐために

■県内における雪害事故の状況

令和3年度の雪害事故による死傷者は、死亡者12名を含む193名となっており、そのうち65歳以上の高齢者が約6割を占めています。

また、過去5年間の雪害事故による死者数は52名で、うち44名（約85パーセント）が高齢者となっています。

■事故の原因

事故を原因別にみると、屋根やはしごなどからの転落が113名（58.5パーセント）と最も多く、雪害事故全体の約6割を占めており、次いで除雪時の転倒が37名（19.2パーセント）、屋根などからの落雪によるものが24名（12.4パーセント）、除雪機による事故が10名（5.2パーセント）と続きます。

〈令和3年度の雪害事故の状況〉

事故者の年齢

65歳以上 58.5パーセント

65歳未満 41.5パーセント

事故の原因

転落 58.5パーセント

転倒 19.2パーセント

落雪 12.4パーセント

除雪機 5.2パーセント

その他 4.7パーセント

何よりも命を守ることが大切!!

1 本当に雪下ろしが必要か、屋根の積雪を確認し、今一度考えてください。隣の家でやっても、自分の家が必要な状況とは限りません。

2 雪下ろしが必要な場合は、業者への作業委託も検討しましょう。雪下ろしにかかった費用について市町村の支援制度を利用できる場合があります。

3 どうしても自分で屋根に上る必要があるときは、次の8つのポイントに注意し、万全の体制で作業しましょう。

安全な雪下ろし作業8つのポイント

1 安全な服装で

ヘルメット

あごひもを締めよう

動きやすい服装

厚着はダメ!

命綱を体に固定する安全帯

抜け落ちる心配のないもの

防寒性ゴム手袋

ゴム長靴
すべりにくいもの

2 はしごはしっかり固定！

はしごの足元を固め、建物にロープで固定する。

ロープで固定

足元を固める

はしごは屋根に対して真っ直ぐにかける

3 命綱を使いましょう

滑りにくい麻ロープなどの命綱を安全帯で体に固定し、家にもしっかり固定する。

4 使いやすい道具を

軽くて雪が付きにくいアルミ製スコップなど使用する。

5 屋根の足場は特に注意

雪止めより下には足場を作らない。屋根に厚さ 20 センチ程度雪を残した方が滑りにくい。

6 2人以上で作業

1人で作業しない。やむを得ず1人で作業する場合は、必ず家族や近所に声掛けをする。

7 屋根の雪のゆるみに注意

暖かい日の午後は特に危険。

8 無理な作業はやめましょう

体調が悪いときは避ける。

除雪作業にも気をつけて！

- 晴れの日ほど要注意。屋根の雪がゆるみ、思わぬ落雪に巻き込まれることもあります。
- 排雪時の池や流雪溝などへの転落にも注意を。
- 除雪機の雪詰まりの除去は、エンジンを切ってから。手を突っ込まず、雪かき棒で除去しましょう。

雪下ろしや除雪作業に役立つ情報

安全に冬期間を過ごすため、雪に関する情報をこまめに収集しましょう。県ホームページなどで最新情報を随時発信していますので、ご活用ください。

安全な除排雪の実践方法などについて調べるなら

こちら防災やまがた!

https://www.pref.yamagata.jp/bosai/kochibou/bousai_jouhou/setsugai/index.html

降雪量の予測などについて調べるなら

山形県雪情報システム

<http://homerun.wni.co.jp/snow/docs/>

雪下ろしのタイミングについて調べるなら

雪おろシグナル

<https://seppyu.bosai.go.jp/snow-weight-yamagata/>

問い合わせ 防災危機管理課 電話番号 023-630-2230

タイトル

令和3年度の決算がまとまりました

一般会計

一般会計の決算額は、歳入が7,478億927万円、歳出が7,349億5,211万円で、歳入歳出差引額（形式収支）は128億5,717万円の黒字となりました。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す事業に充てる財源を控除した実質収支は、62億3,573万円の黒字となりました。

歳入額 7,478 億円

（内訳）

自主財源は、県税1,171億円、諸収入1,131億円、その他950億円の計3,252億円。

依存財源は、地方交付税1,986億円、国庫支出金1,229億円、県債794億円、その他216億円の計4,226億円。

歳出 7,350 億円

（内訳）

商工費1,150億円、教育費1,115億円、公債費881億円、土木費855億円、民生費825億円、衛生費505億円、農林水産業費504億円、総務費496億円、警察費266億円、その他753億円。

令和3年度的主要な取組み

- ・第4次山形県総合発展計画の基本目標である「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向け、ふるさと山形力の向上、保健・医療・福祉の充実、産業経済の振興、農林水産業の振興、やまがた強靱化の5つの視点から各種施策を推進
- ・新型コロナウイルス感染症への対応として、事業者の事業継続への支援や感染拡大防止対策などを実施

決算額の推移

平成29年度／歳入5,912億円／歳出5,841億円

平成30年度／歳入5,949億円／歳出5,875億円

令和元年度／歳入 6,046 億円／歳出 5,969 億円

令和2年度／歳入 7,173 億円／歳出 6,971 億円

令和3年度／歳入 7,478 億円／歳出 7,350 億円

決算額は、前年度と比較して、歳入は 305 億円、歳出は 378 億円増加し、歳入・歳出ともに平成 10 年度に次いで過去 2 番目に大きい規模となりました。

調整基金残高の推移

各年度末残高は、県債一括償還のための積立を除いた出納整理期間終了後の数値です。

平成 29 年度／245 億円

平成 30 年度／265 億円

令和元年度／236 億円

令和2年度／281 億円

令和3年度／432 億円

調整基金（財政調整基金および県債管理基金）の残高は、前年度と比較して 151 億円増加しました。

（うち 90 億円は過大に交付された普通交付税見合い分）

県債残高の推移

平成 29 年度／県債残高 1 兆 1,633 億円

内訳／臨時財政対策債 4,495 億円／補正予算債 563 億円／災害復旧事業債 109 億円／その他
県債 6,465 億円

平成 30 年度／県債残高 1 兆 1,660 億円

内訳／臨時財政対策債 4,479 億円／補正予算債 594 億円／災害復旧事業債 114 億円／その他
県債 6,473 億円

令和元年度／県債残高 1 兆 1,732 億円

内訳／臨時財政対策債 4,404 億円／補正予算債 677 億円／災害復旧事業債 128 億円／その他
県債 6,522 億円

令和2年度／県債残高 1 兆 1,813 億円

内訳／臨時財政対策債 4,293 億円／補正予算債 818 億円／災害復旧事業債 163 億円／その他
県債 6,538 億円

令和3年度／県債残高 1 兆 1,775 億円

内訳／臨時財政対策債 4,227 億円／補正予算債 948 億円／災害復旧事業債 178 億円／その他
県債 6,423 億円

3 年度は、行財政改革プランの期間中（令和 6 年まで）において、その他の県債（グラフ内、緑の部分）残高が 2 年度末残高を下回るという目標を達成しました。

公営企業会計

公営企業 4 会計の合計として、総収益は 133 億 1,543 万円、総費用は 96 億 37 万円で、純利益は前年度に比べ 2 億 9,427 万円減少し、37 億 1,506 万円となりました。

これは、純利益の中で大きな割合を占める電気事業会計において、風力発電所の営業開始により収益が増加したものの、水力発電所のリニューアル工事等に伴い費用も増加したことによるものです。

各会計別の決算の状況

電気事業／

総収益／62億4,800万円

総費用／35億8,600万円

純利益／26億6,300万円（前年度比3億5,400万円の減）

工業用水道事業／

総収益／5億5,800万円

総費用／4億5,600万円

純利益／1億200万円（前年度比2,400万円の減）

公営企業資産運用事業／

総収益／2億1,200万円

総費用／1億2,900万円

純利益／8,300万円（前年度比6,500万円の増）

水道用水供給事業／

総収益／62億9,700万円

総費用／54億3,000万円

純利益／8億6,800万円（前年度比1,800万円の増）

合計／

総収益／133億1,500万円

総費用／96億円

純利益／37億1,500万円（前年度比2億9,400万円の減）

病院事業会計

総収益は424億8,500万円、総費用は400億4,200万円で、総収支は前年度に比べ8億7,100万円増加し、24億4,300万円の純利益となりました。

これは、重油価格の高騰等により医業費用が増加したものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で延期していた手術や検査を再開したこと等により、医業収益が増加したことなどによるものです。

県立病院の決算の状況

中央病院

総収益／258億100万円

総費用／236億5,200万円

総収支／21億4,900万円（前年度比6,900万円の減）

新庄病院

総収益／97億4,900万円

総費用／90億7,200万円

総収支／6億7,700万円（前年度比4億5,200万円の増）

河北病院

総収益／38億6,400万円

総費用／39億200万円

総収支／マイナス3,800万円（前年度比5億6,500万円の増）

こころの医療センター

総収益／30 億 5,300 万円

総費用／31 億 4,400 万円

総収支／マイナス 9,100 万円（前年度比 1 億円の減）

本局

総収益／1,800 万円

総費用／2 億 7,200 万円

総収支／マイナス 2 億 5,400 万円（前年度比 2,300 万円の増）

合計

総収益／424 億 8,500 万円

総費用／400 億 4,200 万円

総収支／24 億 4,300 万円（前年度比 8 億 7,100 万円の増）

注釈 単位未満を四捨五入しているため、合計や差し引きが一致しないことがあります。

問い合わせ

一般会計／会計局会計課 電話番号 023-630-2716

調整基金、県債については総務部財政課 電話番号 023-630-2044

公営企業会計／企業局総務企画課 電話番号 023-630-2735

病院事業会計／病院事業局県立病院課 電話番号 023-630-3104

<10 から 11 ページ>

タイトル **県政できごとアラカルト** こんなことがありました

1) 着実に整備が進む高規格道路ネットワーク

東北中央自動車道「東根北インターチェンジから村山本飯田インターチェンジ」開通（令和 4 年 10 月 29 日）

国道 13 号泉田道路「新庄鮭川インターチェンジから新庄真室川インターチェンジ」開通（令和 4 年 11 月 20 日）

令和 4 年 10 月 29 日に、東北中央自動車道「東根北インターチェンジから村山本飯田インターチェンジ」間が開通し、北村山地域・最上地域までが首都圏と高速道路でつながりました。さらに、11 月 20 日には、東北中央自動車道の一部を構成する国道 13 号泉田道路「新庄鮭川インターチェンジから新庄真室川インターチェンジ」間が開通し、本県の高規格道路ネットワークは、着実に整備が進んでいます。

これらの開通により、両地域をはじめ、県内各地域における県民の安全・安心な生活の確保につながるとともに、産業・観光振興による地域経済の活性化や交流人口の拡大が期待されます。

2) グローバルな価値を日本から発信！

「YAMAGATA Youth Summit 2022」開催（令和 4 年 10 月 30 日から 11 月 12 日 山形市ほか）

本県の産業の高付加価値化や国際化の進展に向け、山形を誇りに思い、グローバルな視点で活躍できる人材を育成するため、「ヤマガタユースサミット」を初めて開催しました。

文翔館でのオープニングイベントは全編英語で行いました。県内学生によるスピーチに続いて、国内外で活躍する経営者らを招いて「グローバル、デジタル、アートと21世紀型社会」をテーマにパネルディスカッションを実施し、活発な議論が交わされました。

その後、尾花沢市、米沢市、酒田市、鮭川村で開催されたエリアセッションでは、「受け継がれる草木塔文化とSDGs（米沢市）」など、地域ごとにテーマを設け、積極的に意見が交わされました。

3) 山形の味覚をPR

新米トップセールス（令和4年11月2日 愛知県名古屋市ほか）

吉村知事が、名古屋市の名鉄百貨店本店および大阪市の高島屋大阪店を訪れ、トップセールスを行いました。

吉村知事は、「山形県は、『つや姫』『雪若丸』に加え、ラ・フランスやりんごなどの果物、総称『山形牛』、日本酒やワインなど、世界に誇る美食・美酒があります。ぜひ、山形の味覚を堪能してほしい。」と来店者に呼びかけました。引き続き、「つや姫」「雪若丸」のブランド力のさらなる向上に取り組んでいきます。

タイトル 県議会だより 第94号

県議会の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

新年のごあいさつ

皆さまには、輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

県議会では、県民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、県内経済の本格的な回復や災害に強い県土づくりなどに全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

坂本 貴美雄 議長

決算審査の概要

令和3年度山形県一般会計歳入歳出決算など17決算および決算に関連した4議案は、決算特別委員会における審査を経て、12月1日の本会議において、認定・可決されました。

決算特別委員会の総括質疑における主な内容は右記のとおりです。

総括質疑（10月29日）

自由民主党 柴田正人 議員 南陽市選挙区

◆令和3年度決算からみた私立高校を含めた高校教育の未来展望 など

県政クラブ 石黒 覚 議員（酒田市・飽海郡選挙区）

◆本県における環境教育の現状と今後の取組み など

地域議員協議会を開催

11月18日、各総合支庁において、地域議員協議会を開催し、それぞれの地域における行政課題や施策展開について、地元選出の県議会議員が幅広く調査・審議し、さまざまな提案を行いました。

写真キャプション 最上地域議員協議会の様子

高速道路の建設促進に向けた意見交換会および要望活動を実施

11月11日、東京都内において、日本海沿岸東北自動車道および東北中央自動車道の建設促進に向けて、国土交通省などとの五県合同意見交換会（青森、秋田、福島、新潟、山形）を3年ぶりに対面で開催しました。その後、各県議会が連携し、国土交通省などへの要望活動を行いました。

写真キャプション1 意見交換会の様子

写真キャプション2 石井浩郎国土交通副大臣に要望

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

生徒・学生の皆さんから県議会を身近に感じてもらうため、下記のとおり意見交換会を開催しました。

「今後の農業経営・林業の発展方策」や「人間の多様な価値観の尊重」をテーマに、率直で活発な意見が交わされました。

◆県立農林大学校（10月21日 対象：全校生）

◆酒田市立酒田看護専門学校（11月1日 対象：1年生）

問い合わせ 編集発行／県議会事務局議事調査課 電話番号 023-630-2846

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル

SDGsを知ろう！第5回

持続可能な「やまがた」に向けて

SDGsで掲げられている17のゴール（目標）

その内容と私たちができる身近な取組み例を全6回シリーズで紹介します。

SDGsの実現に向けた取組みを募集中！

SDGsの実現に向けた県民の皆さんの取組みを募集しております。

皆さんの取組みをTwitterで、ハッシュタグ「#やまがたSDGsチャレンジ」をつけて投稿してください。投稿された取組みは、山形県SDGs推進本部公式SNSなどでご紹介します。

詳しくはこちら

<https://twitter.com/yamagatasdgs>

つくる責任つかう責任

持続可能な方法で生産し、消費する取組みを進めていこう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・リサイクル製品の認定及びリサイクルシステムの認証

〈みんなで今日からできるSDGs〉

- ・資源ごみの分別回収に協力しよう
- ・エシカル消費（注釈）を実践してみよう（注釈）詳しくは特集（6から7ページ）を参照

気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための対策を講じよう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・「カーボンニュートラルやまがた県民運動」の展開による普及啓発や県民のアクションの後押し

〈みんなで今日からできるSDGs〉

- ・電気をこまめに消そう
- ・冷暖房は適切な温度に設定しよう

海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続可能な形で利用しよう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・海岸漂着物や河川ごみ等の回収活動に対する支援や発生抑制に向けた啓発

〈みんなで今日からできるSDGs〉

- ・ごみのポイ捨てをなくそう
- ・マイボトルやマイバッグを使い、普段からプラスチックゴミを減らそう

問い合わせ 企画調整課 電話番号 023-630-2896

詳しくは検索窓に「山形県SDGs」といれてクリック。

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

最上エリア 高速道路で最上地域へぜひ！！

東北中央自動車道の「東根北インターチェンジから村山本飯田インターチェンジ」間が、10月29日に開通しました。山形市から新庄市までの所要時間は約50分に短縮され、自動車での移動がより便利になりました。

最上地域には、「馬ガッキ（すじ肉など）」や「鳥もつ」など長く地元で親しまれてきた食文化が残り、代々受け継がれてきた「最上伝承野菜」など地域の食材をふんだんに扱ったお店も数多くあります。

特に、冬に食べたくするのが、最上地域のご当地ラーメンといえる「とりもつラーメン」です。シンプルな醤油味のスープに、鳥もつの煮込みがトッピングされ、食感も楽しいラーメンです。店舗ごとに煮込み具合や味付けが異なるため、自分好みの味を探して食べ歩きをしてみるのも醍醐味の一つです。

高速道路を利用し、冬のアクティビティや温泉などとあわせて、最上地域の食を楽しまれてはいかがでしょうか。

写真キャプション 最上地域のご当地ラーメン「とりもつラーメン」

問い合わせ 最上総合支庁観光振興室 電話番号 0233-29-1311

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホールイベント情報

舞台『蜘蛛巣城』

日本映画の巨匠・黒澤明監督の傑作映画『蜘蛛巣城』を鬼才・赤堀雅秋演出で舞台化！

開演日時

3月30日（木曜日）午後7時

出演

早乙女太一、倉科カナ ほか

料金

SS席 8,500円 S席 7,500円

A席 6,500円 U-25券（A席エリア）5,000円 ほか

ミュージカル『ジキル&ハイド』

手にするのは、愛か、破滅か

恐ろしくも美しい物語を豪華キャストで鮮烈に描き出す！

開演日時

4月15日（土曜日）、16日（日曜日）各日午後1時

出演

石丸幹二／柿澤勇人、笹本玲奈／真彩希帆、Dream Ami／桜井玲香（Wキャスト） ほか

料金

S席13,500円 A席9,500円 B席7,500円 ほか

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204

（受付時間：水曜日から月曜日の10時から19時）

山形交響楽団演奏会情報

90歳を迎える巨匠 村川千秋のシベリウス

やまぎん県民ホールシリーズ ボリューム4

開演日時

1月15日（日曜日）午後3時

出演

指揮：阪哲朗（チェンバロ）・村川千秋

ヴァイオリン：辻彩奈

演目

【第1部】

ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集《四季》

【第2部】〈指揮：村川千秋〉

シベリウス：交響曲 第3番 ハ長調 作品52

会場

やまぎん県民ホール（山形市）

前売券

S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円

第306回定期演奏会

開演日時

2月11日（土曜日・祝日）午後7時

2月12日（日曜日）午後3時

出演

指揮：川瀬賢太郎

ピアノ：松田華音

演目

細川俊夫：セレモニアル・ダンス

ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 作品43

ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調「運命」作品67

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席4,800円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

開催日時

1月7日（土曜日）午後6時

1月8日（日曜日）午後2時

対戦チーム

西宮ストークス

会場

山形県総合運動公園

開催日時

1月21日（土曜日）午後6時

1月22日（日曜日）午後2時

対戦チーム

佐賀バルナーズ

会場

三友エンジニア体育文化センター

開催日時

1月28日（土曜日）午後6時

1月29日（日曜日）午後2時

対戦チーム

長崎ヴェルカ

会場

山形県総合運動公園

開催日時

2月18日（土曜日）午後6時

2月19日（日曜日）午後2時

対戦チーム

香川ファイブアローズ

会場

山形市総合スポーツセンター

詳しくは検索窓に「山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

「アランマーレ山形」ホームゲーム

開催日時

1月14日（土曜日）午後2時

対戦チーム

大野石油広島オイラーズ

会場

鶴岡市小真木原総合体育館

開催日時

1月15日（日曜日）午後1時

対戦チーム

ルートインホテルズブリリアントアリーズ

会場

鶴岡市小真木原総合体育館

開催日時

2月11日（土曜日・祝日）正午

対戦チーム

大野石油広島オイラーズ

会場

酒田市国体記念体育館

開催日時

2月12日（日曜日）午後1時

対戦チーム

ヴィアティン三重

会場

酒田市国体記念体育館

詳しくは検索窓に「アランマーレ山形」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-3156

注釈 令和4年11月30日時点の情報です。新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ

小野川温泉が生む冬の伝統野菜

小野川あさつき

「あさつき」は、もともと全国的に広く自生している「わけぎ」の仲間で、県内各所にも自生が見られます。古くから野生種が食されていましたが、東北地方の一部の地域では江戸時代から栽培が行われていました。

「小野川あさつき」は、小野川温泉の古くからの冬の名産品で、雪深い米沢市小野川地区で温泉の熱を利用して栽培されます。年末に温泉で畑の雪を解かして新芽を成長させ、1月上旬から2月末まで栽培が行われます。辛味が少なく歯ごたえがシャキシャキしているという特徴をもち、調理する際は10秒少々と短めに茹でた後に冷風で冷ますとおいしく召し上がれます。定番の酢みそ和えのほかに、卵とじや天ぷらなどでも食べられています。今回は、イタリアンにアレンジしたレシピをご紹介しますので、ぜひご家庭でお試してください。

小野川あさつきとベーコンのペペロンチーノ

材料（1人前）

小野川あさつき 3分の1束、ベーコン 50グラム、ニンニク 1片、鷹の爪 1本、細めのスパゲッティ 80グラム、オリーブオイル大さじ3、酒大さじ2、塩・こしょう適量

作り方

- 1 あさつきの根を取り水洗いする。ベーコンは5ミリ程度にカット、ニンニクは潰しておき、鷹の爪はヘタを切り種を取る。
- 2 フライパンにオリーブオイルをひきニンニクを入れ弱火で軽く焼き色をつける。
- 3 2に鷹の爪とベーコンを加え炒める。焼き色がついたら酒を加えアルコールをとばす。
- 4 鍋に3リットルの湯を沸かし塩30グラムを加えスパゲッティを茹でる。
- 5 3に4のゆで汁大さじ3を加え、あさつきを入れて軽く火を通す（食感を残すため炒めすぎないこと）。

6 5に4のスパゲッティを加え、全体を和えて、塩・こしょうで味を調えたら器に盛り完成。

レシピ提供「食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使」我妻喜一氏

問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課 電話番号 0238-26-6051

<14 から 15 ページ>

タイトル **おいしい山形インフォメーション**

山形県の人口と世帯数 令和4年11月1日現在(プラスマイナス前月比)

人口総数 1,039,921 人(前月比マイナス 1,050 人)

世帯数 400,786 (マイナス 109 世帯)

注釈 令和4年11月30日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【催し物】

知っていますか？ 北方領土

2月7日は「北方領土の日」。また、2月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。北方領土の早期返還を願い、パネル展を開催します。

開催場所 最上総合支庁(新庄市)

開催期間 1月16日(月曜日)から20日(金曜日)まで

開催場所 置賜総合支庁(米沢市)

開催期間 1月23日(月曜日)から27日(金曜日)まで

開催場所 庄内総合支庁(三川町)

開催期間 1月30日(月曜日)から2月3日(金曜日)まで

開催場所 県庁(山形市)

開催期間 2月6日(月曜日)から10日(金曜日)まで

開催場所 村山総合支庁(山形市)

開催期間 2月20日(月曜日)から24日(金曜日)まで

問い合わせ 広報広聴推進課 電話番号 023-630-2088

山形県職員公務研究セミナー

県職員の仕事に興味がある方を対象に、具体的な仕事内容・やりがいをオンラインで紹介します。

期日

2月14日(火曜日) 技術系職種

2月15日(水曜日) 事務系職種・警察官

(注釈) 事前申込制です。1月31日(火曜日)までに、「やまがたe申請」からお申込みください

詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/930001/kensei/recruit/saiyoujouhou/kennoshokuin/saiyosiken_top/index.html

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

【お知らせ】

献血にご協力ください

若い世代の献血者が減少しています。「はたち」の若者を中心に、幅広い方々に献血へのご理解とご協力をいただくため、2月末まで「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。献血の申込は下記へ。

献血ルームSAKURAMBO

<住所>

山形市香澄町2の2の36 山形センタービル5階

<電話>

フリーダイヤル 0120-107-093

<予約受付時間>

午前9時から午後5時

(注釈) ご来場前日までの上記時間内にご予約をお願いします。

他にも、県内のスーパーなどへ移動献血車が運行しています。

バスの運行状況・予約や献血ルームの詳細についてはこちら

<https://www.bs.jrc.or.jp/th/yamagata/index.html>

問い合わせ コロナ収束総合企画課 電話番号 023-630-2332

山形県観光情報番組「ワクワク! やまが旅」毎週放送中!

地元“やまがた人”による案内のもと、山形県住みます芸人・ソラシドの二人が県内の観光スポットを巡り、精神文化、美食・美酒、温泉、自然などとともに、県民の日常の暮らしや風土といった山形県の魅力を“深”発見する番組です。ぜひご覧ください!

山形放送

毎週土曜 午前9時25分から9時40分

BSよしもと

毎週土曜 午前8時30分から8時45分

過去の放送回は「山形放送公式YouTubeチャンネル」にて配信中！

詳しくはこちら <https://yamagatakanko.com/yamagatabi>

問い合わせ 観光復活戦略課 電話番号 023-630-2373

蔵書点検のため休館します

県立図書館は、蔵書点検のため、下記のとおり休館します。休館中はご利用いただけないサービスがありますので、ご注意ください。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

◆休館期間

2月15日（水曜日）から28日（火曜日）

◆休止するサービス

資料の閲覧、貸出

相互貸借、図書宅配サービス、調査相談、複写サービス

◆返却方法

図書・雑誌は遊学館正面のブックポストに返却してください。

視聴覚資料（ビデオ/CD/DVD等）は、遊学館入口にある総合案内脇のワゴンに返却してください。

問い合わせ 県立図書館 電話番号 023-631-2523

児童・障がい児（者）に関する各種手当のお知らせ

1 児童手当

◆対象 中学校卒業までの児童を養育している方

◆支給期間 15歳の誕生日後の最初の3月31日まで

<児童の年齢>

3歳未満

<児童手当の額>

一律15,000円

<児童の年齢>

3歳以上小学校修了前

<児童手当の額>

10,000円（第3子以降は15,000円）

<児童の年齢>

中学生

<児童手当の額>

一律10,000円

(注釈) 児童を養育している方の所得が所得制限限度額以上、所得上限限度額未満の場合は、特例給付として月額一律5,000円を支給します。なお、令和4年10月支給分から、児童を養育している方の所得が所得上限限度額以上の場合、児童手当は支給されません。

◆支給月 6・10・2月

2 児童扶養手当

◆対象 ひとり親家庭の母、父または養育者

◆支給期間 子どもが18歳に達した年度末まで(障がいがある場合は20歳未満まで)

支給月額

<全部支給>

児童1人 43,070円

児童2人 10,170円から5,090円加算

児童3人以降1人につき 6,100円から3,050円加算

<一部支給>

児童1人 43,060円から10,160円

児童2人 10,170円から5,090円加算

児童3人以降1人につき 6,100円から3,050円加算

◆支給月 1・3・5・7・9・11月

3 特別児童扶養手当

◆対象 重度から中度の障がいがある子どもを在宅で監護・養育している方

◆支給期間 子どもが20歳に達するまで

◆支給月額

1級 52,400円

2級 34,900円

◆支給月 4・8・12月

4 特別障害者手当(障害児福祉手当)

◆対象 重度の障がいがあり、在宅で生活している方

◆支給月額

障害児福祉手当(20歳未満) 14,850円

特別障害者手当(20歳以上) 27,300円

◆支給月 2・5・8・11月

<申請窓口>各市町村福祉担当課

(注釈) いずれの手当も障がい程度・所得制限など一定の要件があり、認定を受けた場合、申請月の翌月分から支給されます。

問い合わせ

- 1はお住まいの市町村児童手当担当課
2と3は子ども家庭支援課 電話番号 023-630-2263
4は障がい福祉課 電話番号 023-630-2275

山形県精神科救急電話相談

県精神科救急情報センターでは、「精神科救急電話相談」を実施しています。精神的な症状の急激な悪化など急を要する相談について、専門のスタッフが相談内容に応じて受診の必要性の判断や医療機関の紹介などを行います。

◆専用ダイヤル 電話番号 0570-022-553

◆受付時間

平日 午後5時30分から午後10時
土日祝日 午前9時から午後10時

かかりつけの医療機関がある場合は、まず、そちらにご相談ください。

また、緊急でない一般的な相談は、最寄りの保健所や心の健康相談ダイヤル（023-631-7060）にご相談ください。

問い合わせ 障がい福祉課 電話番号 023-630-2240

令和5年10月1日から消費税インボイス制度が始まります！

令和5年10月1日からインボイス発行事業者になるためには、原則として令和5年3月31日までに納税地を所轄する税務署長に登録申請を行う必要があります。登録するかどうかは事業者の方の任意ですが、取引先との調整やシステムの整備が必要となることもあるため、適宜計画的な検討、準備をお願いします。

なお、申請の際は、登録通知から受領までの手続きをスムーズに行えるe-Taxをぜひご利用ください。

◆軽減・インボイスコールセンター

インボイス制度に関する一般的なご質問を受け付けています。

フリーダイヤル 0120-205-553（無料）

【受付時間】午前9時から午後5時（土日祝除く）

◆インボイス制度の説明会

各税務署で事業者全般を対象とした説明会を開催しています。

日程や会場など詳しくはこちら

https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice_setsumei.htm

◆インボイス制度特設サイト

国税庁ホームページにインボイス制度の概要に関する各種資料などが掲載されています。

詳しくはこちら

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

新型コロナへの備えをお願いします

体調不良時の対応や相談窓口を確認しておきましょう。

食料や生活必需品、抗原検査キットと解熱鎮痛薬を購入しておきましょう。

1. 発熱やせきなどの「軽い症状」がある場合

<未就学児・65歳以上の方・妊婦の方・重症化リスクの高い基礎疾患のある方>

●新型コロナの診療・検査を行っている医療機関を受診してください。

◆かかりつけ医がある場合 定期的に受診している医師に相談ください

(注釈) 受診前に必ず電話で受診相談をお願いします

◆かかりつけ医がない場合・受診を迷われるとき

受診相談コールセンター フリーダイヤル 0120-88-0006 (24時間受付)

●救急医療が必要な方の診療に支障がないよう、夜間・休日は受診を控え、あわてず通常の診療時間内に受診しましょう。

<上記以外の方>

●抗原定性検査キット(国が承認した「医療用」または「一般用」)を使用した自己検査、市販の解熱鎮痛薬での対応をお願いします。

●自己検査の結果、コロナ陽性となった場合は、陽性者健康フォローアップセンターに登録の上、自宅療養をお願いします。

2. 新型コロナ「陽性」になった場合の登録や自宅療養中の健康相談

陽性者健康フォローアップセンター

https://www.pref.yamagata.jp/090016/followup_center.html

自己検査等で陽性になった方

専用WEBサイトから登録(24時間受付)

登録はこちらから

https://www.pref.yamagata.jp/090016/touroku_center.html

登録方法に関するお問合せ

電話番号 050-5444-2359 (9時から17時)

医療機関で陽性と診断された方(発生病対象外の方)

専用WEBサイトから登録(24時間受付)

登録はこちらから

https://www.pref.yamagata.jp/090016/yosei_forem.html

療養中のご相談・お問合せ

◆自宅療養中の体調不安や症状悪化時の相談

◆自宅療養に関する問合せに対応(療養期間、食料支援、宿泊療養ほか)

◆医療機関で陽性診断の方(発生病対象外)の登録相談

(注釈) 陽性者登録をしていない方も相談可能です

発生届の対象の方とは…

- 1 65 歳以上
- 2 入院が必要
- 3 重症化リスク有、かつ、新型コロナ治療薬または酸素投与が必要
- 4 妊婦

3. 新型コロナ全般に関するご相談

「無症状」の方のご相談

一般相談コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7383 (午前 8 時 30 分から午後 6 時・土日祝日も含む)

コロナ後遺症に関するご相談

県コロナ後遺症コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7690 (午前 8 時 30 分から午後 6 時・土日祝日も含む)

こころの健康に関する相談

県精神保健福祉センター

電話番号 023-631-7060 (平日月曜日から金曜日 9 時から 12 時、13 時から 17 時)

ワクチンの副反応等に関するご相談

県ワクチンコールセンター

フリーダイヤル 0120-567-690 (午前 8 時 30 分から午後 6 時・土日祝日も含む)

聴覚・言語障がいのある方のご相談

県コロナ収束総合企画課 (FAX) 023-625-4294 (平日午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分)

プレゼントクイズ

特集のタイトルにもあるように、県では、人や社会、地域、環境にやさしい消費行動である「○○○○消費」の普及に取り組んでいます。さて、○○○○には何が入るでしょうか？

ヒント 6 から 7 ページ 特集

1等 山形県産黒毛和牛牛角煮めし【5名様】

株式会社タスクフーズ

第2回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」

主食部門 最優秀賞 (山形県知事賞)

2等 三、なすび【10名様】

株式会社佐徳

第2回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」

惣菜部門 最優秀賞

正解者の中から抽選で賞品 (指定はできません) をプレゼント!

はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③を入力し、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jp に送信してください。

あて先

郵便番号 990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」1月号プレゼント
クイズ係

締め切り 1月31日（火曜日）（当日消印有効）

注釈 応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

<16 ページ>

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

山形県郷土館「文翔館」前編

100年以上も前から、街を見守るように佇む文翔館。
時を刻む建物を2回に分けてご紹介！

コンサート会場などにも使用される文翔館。

昔は県庁舎だったって知ってた？

山形県郷土館（愛称：文翔館）は、1916年（大正5年）に県庁舎および県会議事堂として現在の場所に建てられました。設計したのは、日本近代建築の父と呼ばれた英国人建築家ジョサイア・コンドルの愛弟子の田原新之助。正面から見ると石造りに見える文翔館ですが、実はレンガ造りになっています。レンガは約237万本も使われており、外壁は南陽市で採掘された花崗岩で化粧されています。

山形県庁の移転後には国の重要文化財に指定され、1986年（昭和61年）から約10年の歳月をかけて保存修復工事が行われ、今では山形県郷土館として、誰でも自由に見学することができるようになりました。

100年以上の時を刻む時計塔や、現在はコンサートなどにも使われる、かまぼこ型の天井が印象的な議場ホールなど、見どころがたくさんあり、観光客をはじめ、県民の皆さんに愛される施設になっています。

写真キャプション1 実はレンガ造りの文翔館

写真キャプション2 中庭からはレンガ造りの構造が確認できるよ！

写真キャプション3 表側は花崗岩でお化粧！

ヒミツポイント

<紅花とさくらんぼがこんなところに？>

3階の正庁の天井は、細やかで美しい「漆喰細工」が施されています。よく見ると山形の代表的な果物と花が隠れています。

<かまぼこ型の天井。昔は…>

県議会が行われていた議場ホール。創建当時は、かまぼこ型の天井から太陽の光を取り入れてい

たそうです。

<屋根材には宮城県の「雄勝石」を使用！>

創建当時に石巻市から15万枚運ばれてきた雄勝石。東日本大震災で被災しましたが、現在は復興へ向けて再生産に取り組んでいるそうです。

<可愛いハートではなく、実は…>

議場ホール近くの階段には、ハートの模様？実はこれ、日本古来の魔除けの印だといわれているとか。どこにあるか探してみてね。

文翔館ボランティアガイド

志田 芳子（しだよしこ）さん

先人たちが100年以上前にこの素晴らしい建物を造ったことを県民の皆さまにも知ってほしいです。文翔館を愛する私たちボランティアガイドは、皆さんにその魅力を伝えられるよう頑張っていますので、ぜひ見学に来てください。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和5年1月号 631号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>